

市町村名	恩納村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ア)		
担当部課名	村民課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光受入体制の整備		
事業内容	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害防止を図るため、ハブの目撃・捕獲数が多い仲泊～宇加地地域及び名嘉真地域にかけて捕獲機を450基設置・巡回しハブ等の駆除を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,930	5,822	6,055	6,376	6,630
		(b)予算現額	5,799	5,822	6,055	6,376	6,747
		(c)増減額(b-a)	-131	0	0	0	117
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		5,799	5,822	6,055	6,376	6,747
	B. 執行済額		5385	5371	5204	5,729	6,204
	うち交付金充当額		4308	4296	4163	4,583	4,963
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		92.9%	92.3%	85.9%	89.9%	92.0%
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は実施できており、活動目標の達成状況を鑑みて適正だったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ハブ生息地へのハブ捕獲機設置数	目標	(400)	(400)	(400)	(400)	
		実績	450箇所	450箇所	450箇所	450箇所	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・ハブ等が多く生息する村内南部の地域(仲泊～宇加地)に380基、名嘉真地域に70基設置し、設置予定基数の400基を超える捕獲機を設置し巡回・捕獲を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	捕獲機設置周辺における咬傷被害件数	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)
		実績		0件	0件	0件	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	捕獲器設置周辺地域における咬傷被害件数は0件で目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・北部地域（名嘉真地区）における住民からの目撃が増えている。 ・現在の体制での捕獲の設置数は450基となってる。 ・前年度よりタイワンハブ等の捕獲数が40%程度増加している。	・今年度は北部地域（名嘉真地区）での捕獲器を設置した結果、56匹の捕獲があった。 ・引き続き捕獲機の設置割合やエリアの見直しを検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
・目撃情報が増えている北部地区（名嘉真地区）への捕獲器を増設し、引き続き生息域の調査を行っていく。 ・住民からのタイワンハブ等の目撃が多くなっているため、ホームページ・広報誌等で注意喚起を促していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,747	6,204	4,963	1,241	543

恩納村
6,204千円

報酬
4,574千円

旅費
205千円

共済費
737千円

事務費
688千円

嘱託職員 2人
4,574千円

〔会計年度任用職員 2人
交通費〕

〔会計年度任用職員 2人
社会保険料〕

〔需用費、使用料及び賃借料〕

〔ハブ売上収入(交付対象外経費)
475千円
ハブ保存用冷凍庫購入費
68千円〕

〔ハブ駆除事業に係る報酬〕

資金の流れ、 使途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員の採用方法について、村の規定に準じ採用した。また、特殊事業のため経験者を採用した。 ○費用については、見積入札や村の規定に準じているため適正であった。 ○費用、使途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ 多彩かつ質の高い観光の推進		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	57,198	33,220	26,227	18,988	19,754
		(b)予算現額	31,524	31,646	17,830	3,972	14,900
		(c)増減額(b-a)	△ 25,674	△ 1,574	△ 8,397	△ 15,016	△ 4,854
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	31,524	31,646	17,830	3,972	14,900
	B. 執行済額		30,764	31,646	17,830	3,972	13,746
	うち交付金充当額		24,611	25,316	14,263	3,177	10,996
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		97.6%	100.0%	100.0%	100.0%	92.3%
予算の状況の説明		観光誘客人配置事業において人員の確保ができなかったため、交付対象事業費4,467千円を減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	観光誘客プロモーションの実施	目標	(2回実施)	(1回実施)	(1回実施)	(1回実施)	
		実績	2回実施	1回実施	中止	1回実施	
	イベントの開催	目標	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	
		実績	花火大会の開催	中止	中止	花火大会の開催	
	観光案内人の配置	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	観光誘客人の配置	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	未実施	
	達成状況説明	・イベント事業の開催については、3年ぶりに「美ら海花火大会」を開催することができた。 ・プロモーション事業として、東京池袋(サンシャインシティ)で行っている「沖縄めんそーれフェスタ」についても2年ぶりに開催することができた。 ・観光案内人を恩納村文化情報センターの観光フロアに2人配置した。 ・観光誘客人を本事業の業務担当として恩納村観光協会に1人配置を予定していたが、人員確保ができず未実施となった。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	イベント入場者数	目 標	()	()	()	(5,700人以上)	()
		実 績				5,845人	
	村内主要ホテルへの年間宿泊客数	目 標	()	(287万人)	()	(150万人以上)	()
		実 績		135万人		208万人※	
	観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		87%	86%	86%	
	進捗状況説明	「イベント入場者数」については、対象事業の「美ら海花火大会」を3年ぶりに開催することができた。新型コロナウイルス感染前と比較するとおおそ半分の人数だったが目標を達成することができた。 「村内主要ホテル年間宿泊客数」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の規制緩和等により目標を大きく上回ることができた。※村内主要ホテル1か所の集計が間に合わず、集計に入れておりません。 観光案内所において、観光情報の提供及び案内人の対応について利用者アンケートを実施した。「観光フロアの情報内容」について満足度は86%、「旅の案内人の対応」について満足度は86%、また「観光地・恩納村としての満足度」は92%であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・美ら海花火大会は入場者数5,845人で5,615発を打ち上げた。アンケートの結果から好評であったことがうかがえる。 ・観光案内所からの観光情報の提供や案内人の対応について、目標以上の満足度が得られたが、次年度への継続雇用とならなかった。 ・フロンティア事業を2年ぶりに開催し、アンケートの結果から、初めて参加した人が6割を超えることや恩納村へ行きたいと感じた方が半数を超えるなど、事業の効果がうかがえた。	・美ら海花火大会を7月から10月へ変更した。アンケート調査の結果を分析・検討し来場者の満足度を高める大会とすることで更なる誘客を図る。 ・新たな雇用となるため、観光案内人の知識習得や対応スキル等を習得することとあわせ、これまでの案内人と異なった視点により観光誘客を図る。 ・プロモーション事業の今後の取り組みに関して、検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
・恩納村でのリゾートウェディング事業やアクティビティの拡充、また特産の開発など、他の取り組みと合わせてイベントや村内宿泊への誘客を図る。 ・美ら海花火大会については、環境にやさしい花火の使用や、打ち上げ場所や安全対策の検討を行う。 ・プロモーション事業を継続・拡大し更なる誘客を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,829</td><td>13,746</td><td>10,996</td><td>2,750</td><td>1,083</td></tr> </tbody> </table> 恩納村 14,829千円 → 委託料 14,829千円 → 恩納村観光協会 14,829千円 ・観光案内人の配置(2人) ・美ら海花火大会 ・おんな村観光物産展事業					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,829	13,746	10,996	2,750	1,083
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
14,829	13,746	10,996	2,750	1,083										
資金の流 れ、費 用、	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、本村の観光を推進することに特化した唯一の事業者となっており、支出先の選定方法は妥当であった。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	赤間総合運動公園機能整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-(ア)	
担当部課名	恩納村教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興		
事業内容	スポーツコンベンションの誘致や公園の利便性、快適性の向上を目指し公園施設の機能強化に向けた条件を取りまとめ施設の機能強化整備を行っていく。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(7年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R4年度					
		(a)当初予算額	8,833,000				
		(b)予算現額	8,833,000				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	8,833,000	0	0	0	0	
	B. 執行済額	8,833,000					
	うち交付金充当額	7,066,000					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	事業計画通り、執行出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
	機能強化整備計画の策定	目 標	(計画策定完了)	()	()	()	
		実 績	計画策定完了				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	令和4年度で機能強化整備計画策定が完了している。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(7年度)
	機能強化整備計画の策定	目 標	()	(計画策定の完了)	()	()	(スポーツ合宿の受け入れ件数)
		実 績		計画策定の完了			7件
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	公園の現状や課題を整理し、スポーツ交流機能の強化並びに利用者のニーズに合った計画を策定することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今後本格的な整備を行っていくうえで、予算の確保や公園の他の施設運営とのバランスをみながら、整備を行っていく必要がある。	スムーズな機能強化整備の為に、関係機関及び関係課と連携して工事発注やスポーツコンベンションの誘致等行っていく。
今後の取り組み方針		
今後は策定した機能強化計画を基に整備を行い、県内外からのスポーツ合宿などを受け入れ地域経済の波及効果を高めていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,833</td><td>8,833</td><td>7,066</td><td>1,767</td><td></td></tr> </tbody> </table> 恩納村 8,833千円 → 委託料 8,833千円 → (株)国建 8,833千円 （赤間総合運動公園機能強化整備計画策定委託業務）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,833	8,833	7,066	1,767	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,833	8,833	7,066	1,767											
資金使途の流れ、点検評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務及び工事業者は指名競争入力で選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正の規模だった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	赤間野球場電光掲示板整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-(ア) スポーツ関連産業の振興	
担当部課名	恩納村教育委員会 社会教育課	事業実施 (予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	野球場電光掲示板の機能拡張を実施することでプロ野球等のキャンプの受け入れ体制の確保やそれに伴う観光誘客を図る。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(5年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R4年度					
		(a)当初予算額	161,381				
		(b)予算現額	161,381				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		161,381	0	0	0	0
	B. 執行済額		161,381				
	うち交付金充当額		129,104				
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		令和4年度で、実設計及び工事完了まで行うことが計画通りできたので予算の執行率は100%となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度				
	実施設計及び整備工事の完了	目標	(整備の実施)	()	()	()	
		実績	整備の完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和4年度で、赤間野球場電光掲示板整備事業に伴う実施設計及び整備工事が完了している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	年度	目標値 (年度)
	電光掲示板工事の完了	目標	()	(整備の完了)	(キャンプ及び自主トレーニングの受け入れ延べ件数)	()	()
		実績		整備の完了	6件		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・赤間野球場電光掲示板改修工事を行うことで、旧システムから機能の拡張を行うことができ利用者や来場者からの視認性が向上した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	スピードガンの導入や視認性が向上しているので、プロ野球合宿や県外大会などスポーツコンベンションに繋がる誘致等が必要である。 また、これまでよりパフォーマンス性に優れている一方で、機器操作が複雑になっている為、スタッフの育成も必要である。	キャンプ及び大会等の開催増加につなげるため、関係課も含めプロ野球キャンプ等誘致に向けた取り組みも必要になってくる。 電光掲示板の機能向上によりパフォーマンスを最大限に生かせるよう、定期的に操作方法の説明会や適正な維持管理方法などの講習を行いスタッフの資質向上を図っていく。
今後の取り組み方針		
電光掲示板の整備が完了した事に伴い、関係課を含めスポーツコンベンション誘致やそれに伴う受入体制の確保など安定した施設運営を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>161,381</td><td>161,381</td><td>129,104</td><td>32,277</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	161,381	161,381	129,104	32,277	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
161,381	161,381	129,104	32,277											
恩納村 161,381千円 委託料 10,208千円 工事費 151,173千円 (株)ワールド設計 6,248千円 (株)ワールド設計 3,960千円 (有)新成電設 151,173千円 〔赤間野球場電光掲示板改修設計委託業務〕 〔赤間野球場電光掲示板改修工事監理委託業務〕 〔赤間野球場電光掲示板改修工事〕														
資金の流 使途の流 点検 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務及び工事業者は指名競争入力で選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正の規模だった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成29～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a)当初予算額	54,355	44,910	38,595	40,361	39,432
		(b)予算現額	45,142	44,970	38,595	40,361	39,519
		(c)増減額(b-a)	-9,213	60	0	0	87
		(d)繰越額		-	-		
		A. 計(b+d)	45,142	44,970	38,595	40,361	39,519
		B. 執行済額	37,068	37,272	36,740	39,602	35,680
		うち交付金充当額	29,654	23,962	21,920	28,953	28,544
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	82.1%	82.9%	95.2%	98.1%	90.3%
予算の状況の説明		事業計画通り、執行出来た。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	特別支援教育支援員充足率 100%	目標	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	
		実績	幼稚園 100.0% 小学校 130.0% 中学校 100.0%	幼稚園 100.0% 小学校 111.1% 中学校 100.0%	幼稚園 100.0% 小学校 111.1% 中学校 100.0%	幼稚園 100.0% 小学校 111.1% 中学校 100.0%	
	特別支援教育支援員配置数	目標	幼稚園:4人 小学校:10人 中学校:6人	幼稚園4園:4人 小学校5校:9人 中学校1校:3人	幼稚園4園:4人 小学校4校:9人 中学校1校:3人	幼稚園4園:4人 小学校4校:9人 中学校1校:3人	
		実績	幼稚園 4人 小学校 13人 中学校 6人	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人	
達成状況説明	・配置の遅れや中途退職による欠員期間が生じ、1小学校において、欠員補充ができなかった。(目標値は配置人数であり、実績は配置したのべ人数となっている。)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(H29年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施：学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	(93%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実績		94.45%	94.70%	88.40%	
		目標	()				
		実績					
	進捗状況説明	引き続き高い評価が得られた。 今後の支援員配置についても98.6%以上が希望している。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	- 令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の不安を抱えた状況であったが、保護者アンケートから変化や成長がみられたとの回答が80%以上であったことから、支援員の資質向上が図られ、適切な支援が行われているものと思われる。 - 慢性的な人手不足による支援の不足が生じないようにしなければならないが、沖縄県全体が教育不足ということもあり、本事業の支援員教員で免許保持者が臨任教諭へ採用となるケースが生じた。	- 支援員の資質向上については、引き続き指導主事による研修を計画的に実施していく。 - 引き続き近隣市町村の雇用条件等を参考にし、必要があれば雇用条件を見直すと同時に欠員が生じた際の支援の在り方について学校と調整しておく。
今後の取り組み方針		
- 指導主事による研修実施に加え、学校内での研修に積極的に参加させ、校内連携の充実に取り組む。 - 支援員の継続雇用により安定した支援体制を維持する。 - 人材確保のため、ハローワークへの求人募集を早期に行う。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		39,519	35,699	28,559	7,140	3,820

恩納村
39,519
千円

報酬
28,204
千円

職員手当等
5,018
千円

旅費
1,285
千円

共済費
5,018
千円

報酬
支援員17人
28,204千円

期末手当
支援員17人
5,018

通勤手当
支援員17人
1,285千円

社会保険料及び
雇用保険料
支援員17人
5,018千円

幼稚園 4人
小学校 10人
中学校 3人

幼稚園 4人
小学校 10人
中学校 3人

幼稚園 4人
小学校 10人
中学校 3人

幼稚園 4人
小学校 10人
中学校 3人

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「恩納村特別支援教育支援員配置要綱」「恩納村会計年度任用職員の任用等に関する規則」に基づいた支出であり妥当である。 ○予算規模は妥当である。 ○村条例に基づいた積算および出勤簿管理により支出しているため適正であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	恩納村景観むらづくり計画改定事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-(イ) 沖縄の歴史と景観に配慮した 千年悠久のまちづくり			
担当部課名	企画課	事業実施 (予定)年度	令和4～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(1)			
事業内容	豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るため、恩納村景観むらづくり計画の検討及び策定を行う。							
効果発現年度	□当年度 ■後年度(令和6年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	10,120					
		(b)予算現額	2,145					
		(c)増減額(b-a)	-7,975	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	2,145	0	0	0		
	B.執行済額		1815					
	うち交付金充当額		1452					
	次年度繰越額		0				0	
	執行率(%) (B/A)		84.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		入札札残により7,975千円を減額。また、事業計画の一部変更に伴い330千円の減額となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	上位・関連計画との整合性、基礎的条件の整理等	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
	アンケート調査の実施	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
	ワークショップの開催 かわら版の作成・配付	目標	(開催・作成)	()	()	()		
		実績	未開催・未作成					
	関係団体との意見交換、各種会議	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
	景観形成重点地区(案)の検討・作成	目標	(作成完了)	()	()	()		
		実績	作成完了					
	景観むらづくり計画改定(案)の検討・作成	目標	(作成完了)	()	()	()		
		実績	作成完了					
達成 状況 説明	上位関連計画との整合性、基礎的条件の整理やアンケート調査の実施、関係団体との意見交換、庁内会議や景観むらづくり審議会を行い、景観むらづくり計画改定(案)を作成した。 アンケート調査の実施、関係団体との意見交換、庁内会議や景観むらづくり審議会を行い、景観形成重点地区(案)を作成した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)	
	景観計画(案)の作成の完了	目標	()	(完了)	()	()	()	
		実績		完了				
	景観形成重点地区(案)作成の完了	目標	()	(完了)	()	()	()	
		実績		完了				
	進捗 状況 説明	景観むらづくり計画改定(案)、景観形成重点地区(案)の作成を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・景観計画の改定に向けて基礎調査を行い、景観むらづくり計画改定(案)を作成することができたため、成果目標を達成できたと考えられる。	・景観計画改定(案)を基に村民の意見を反映させながら景観むらづくり計画の改定を行う。
今後の取り組み方針		
・今年度の景観むらづくり計画改定(案)を基にパブリックコメントの実施及び審議会等を開催し、景観むらづくり計画の改定を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,815</td><td>1,815</td><td>1,452</td><td>363</td><td>0</td></tr> </table> 委託料 1,815千円 → 合同会社ユーエスディラボ 1,815千円 〔景観むらづくり計画改定等業務委託〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,815	1,815	1,452	363	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,815	1,815	1,452	363	0										
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札方式により適切に選定した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当であったと考えている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業の目的を達成するためには最小限必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												